

授業科目名	人間教育学ゼミナール（基礎）(2100309)		
時間割名	人間教育学ゼミナール（基礎）(45105)		
時間割担当	高木悠哉		
実施期	通年	単位数	4 選択
曜日・時限	木・5		

授業の目標・概要

人間教育学として、自らが深めていきたい専門領域を決め、基礎科目ゼミナールで身につけたアカデミックスキルを駆使し、専門分野の文献や論文によって見識を深めていきます。必要に応じて、実習や地域交流などを行い、主体的に自らの専門性を深めていきます。

本ゼミナールでは、教育心理学領域から特に、動機づけ、セルフコントロール、社会的自己の3つの分野の文献購読を行い、卒業論文作成に向けた学生ごとのテーマを決定することを目標とする。基礎ゼミナールでは特に、心理学研究法の概説、研究の発表手法を経て、個人のテーマの決定、テーマごとの文献の発表およびディスカッションを行う。

学習の到達目標

学習の到達目標は、教育心理学の研究法の理解、教育心理学分野の基本的な知識の修得、教育心理学の文献を理解できるようになることの3点である。

授業方法・形式

前期の授業は、主要文献の紹介、心理学的研究法の概説、自身のテーマの決定、プレゼンテーション手法を指導する。後期は、学生ごとにテーマの主要文献の発表およびディスカッションを行い、卒業論文に向けた研究計画を指導する。

授業計画

- 1 オリエンテーション ゼミの指導計画、主要文献の紹介
- 2 文献購読の手法 文献の読み方、探し方、理解の仕方
- 3 心理学研究法（1） 科学的研究とは何か 実験研究と相関研究
- 4 心理学研究法（2） 独立変数の操作 従属変数の測定
- 5 心理学研究法（3） 剰余変数の統制
- 6 心理学研究法（4） 実験計画法
- 7 心理学研究法（5） 質問紙作成の手法
- 8 心理学研究法（6） 質問紙調査の手順
- 9 心理学研究法（7） 質問紙調査の分析法
- 10 心理学研究法（8） 心理学統計法の基礎
- 11 心理学研究法（9） 実験計画と用いられる統計手法の基礎
- 12 心理学研究法（10） 観察法
- 13 心理学研究法（11） 検査法 面接法
- 14 ゼミ発表準備指導（1） 文献のレジュメへのまとめ方
- 15 ゼミ発表準備指導（2） Powerpointによるプレゼンテーションの注意点
- 16 オリエンテーション 個人ごとの発表方針の決定、発表スケジュール策定
- 17~22 研究指導（1） 授業担当者による文献の模擬発表およびディスカッション、個人の発表テーマ決定
- 23~24 研究指導（2） 個人ごとのテーマによる文献の発表およびディスカッション
- 25~29 研究指導（3） 文献の発表とディスカッションを経た自身の研究計画を発表
- 30 まとめと今後の展望 レポート作成の手法、まとめと応用ゼミ受講に向けての注意点

成績評価の基準

- 各自のテーマに沿った最終レポート（50%）
- ゼミでの発表（30%）
- 文献購読のまとめ資料と研究計画案（20%）

授業時間外の課題

- 教育心理学分野の入門書籍を通年で1冊
- 心理学論文に必要な英語テキストを通年で1冊
- 発表や研究計画作成に向けての文献購読

メッセージ

ゼミは、1度の欠席が致命的な遅れとなるので、欠席は特別な理由がない限り認めない。また、講義外での自学がゼミでの学修をより充実したものとするため、講義時間外での課題を達成することを求める。自身の卒業論文作成の基礎がこの講義で作られることを自覚し、積極的な学修態度で臨んでほしい。

教材・教科書

教科書は用いない。講義内で適宜資料を配付する。

参考書

講義内で各自のテーマに基づき指定する。